

# 生物資源科学部だより

編集・発行 / 島根大学 生物資源科学部 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 URL: <https://www.life.shimane-u.ac.jp/>  
TEL: (0852) 32-6493 FAX: (0852) 32-6125

Vol.39

発行 2025年 6月



## 学部長より保護者の皆様へのご挨拶

生物資源科学部長 上野 誠



本学の生物資源科学部は、1995年に農学部と理学部を改組し設立され、今年で30年を迎えることができました。これはひとえに皆様のご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

設立当初は5学科でスタートした本学部ですが、社会の変化に対応するため、2018年に3学科（生命科学科・農林生産学科・環境共生科学科）へと改組し、現在に至っております。学科の構成は時代とともに変化してきましたが、自然豊かな島根のフィールドを活かした研究・教育という本学部の強みは変わることなく、社会で活躍する多くの卒業生を送り出すことに成功しております。

今後も「ここにしかない学び」として、フィールド教育・研究を推進し、「未利用資源の利活用に関する研究」を通じて、皆様や地域に応援していただける魅力ある学部を目指し、より一層努力してまいります。

ます。

現在、18歳人口の減少に伴い、国立大学の在り方が議論されています。その中で、私たちの学部をより良い形で運営していくために、日々検討を重ねています。今後は、これまで以上に高校生、在学生、地域の皆様、保護者の方々の声を伺う機会を増やし、求められる学部へと進化していくことが求められています。ぜひ皆様の忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。

最後に、本学部の学生が新たな時代を生き抜く力を身につけ、社会で活躍できる人材となるよう、教職員一同全力で取り組んでまいります。今後とも、生物資源科学部の活動にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 令和7年度入学式を挙行

4月2日(水)、令和7年度島根大学入学式が「くにびきメッセ」にて行われ、生物資源科学部に215名、大学院自然科学研究科(生物資源科学系)に54名の新生が入学しました。

式では、大谷浩学長の入学許可宣言と式辞、来賓の祝辞、入学生代表の宣誓、お手本となる先輩学生の表彰が行われました。

入学式に引き続いて6年ぶりに新生保護者会・後援会を開催し、学生支援の内容等の説明を行いました。

学生は、午後には学部全体のオリエンテーションが、翌日には学科ごとのオリエンテーションが実施され、大学生活がスタートしました。



## 新任教員の紹介

生物資源科学部に本年4月1日に以下の6名の教員が着任しましたのでご紹介します。

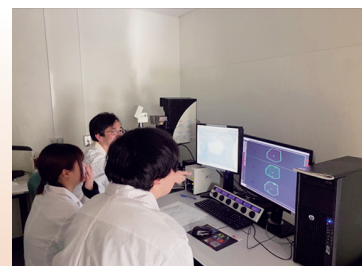
| 学科・部門  | 氏 名   | 専門分野     |
|--------|-------|----------|
| 生命科学科  | 古水 千尋 | 植物分子遺伝学  |
| 生命科学科  | 大沼 耕平 | 発生生物学    |
| 農林生産学科 | 加古 哲也 | 花き・特産園芸学 |

| 学科・部門   | 氏 名   | 専門分野         |
|---------|-------|--------------|
| 農林生産学科  | 末永 千絵 | 農産物市場学       |
| 環境共生科学科 | 劉 佳啓  | 環境物理学        |
| 先鋭研究部門  | 児玉基一郎 | 発酵微生物学・植物病理学 |

## 学 科 の 様 子

### 生 命 科 学 科

生命科学科では、講義で学んだ内容を、実験・実習やセミナーを通じて実体験しながら理解を深めます。3年次後期からは各研究室に所属し、走査型電子顕微鏡、GC-MS、DNAシーケンサー、PCR装置、共焦点レーザー蛍光顕微鏡などの高度な機器を用いた研究を進めます。授業ではパソコンを活用し、オンデマンド教材などICTも取り入れた柔軟な学習環境を整えています。1年生は「生命科学基礎セミナー」で各コースの研究内容を知り、2年次からの選択に備えます。2年生は興味に沿った科目や実習を通じて専門性を深め、3年次には研究室訪問を行って配属準備を進めます。4年生は就職や進学準備と並行し、卒業研究に集中します。



食分子細胞工学実験の様子  
(5月26日、バイオイメージング解析室)

### 農 林 生 産 学 科

農林生産学科の1年生は、入学後すぐにオリエンテーションに参加します。4月3日には、学生生活で必要になるコンピュータの利用についての講習を、4日には授業の履修などの説明を受けます。必修科目「フィールド実習」では、4月19日に三瓶演習林にて森林実習に参加しました。

2年生になると、分属した4つの教育コースの講義・実験が始まります。基礎的な知識・分析手法を学んだあとは、3年生で研究室に所属し、卒業研究に向けてさらに専門性の高い調査や実験・演習を行っていきます。4年生は研究論文の完成を目指して、就職活動や大学院進学準備を進めながら、調査・実験結果の解析に本格的に取り組むことになります。円滑な学生生活になるように卒業まで指導教員がサポートしています。4年間を通して学生が大きく成長することを期待しています。



農林フィールド実習の様子  
(4月19日、島根大学三瓶演習林)

### 環 境 共 生 科 学 科

念願の大学生となった1年生は、大学生活を送るために必要ないろいろな手続き、連絡の受け方と送り方、そして大学生活の心得について説明を受け、大学生としてのスタートを切りました。学科の初年次教育科目では、新しい友人たちと協力しながら、課題への取り組み方、パソコンを使った調査や分析、また発表のやり方を学んでいます。2年生は、4つある教育コースの中から1つを選んで分属し、そのコースが扱う専門的な内容についての学習を始めました。3年生は卒業研究の指導を受ける研究室への所属が決まり、勉強から研究へと、新たなステップを踏み出しました。4年生は卒業研究の完成を目指した取り組みを続けつつ、大学院への進学や就職など、卒業後の進路を決めるべく悩み、考え、努力しています。1年生から4年生までの全ての学生は、それぞれの課題に向き合いながら、自らをより高めるために奮闘しています。担当教員一同はそのような学生たちに寄り添うとともに、日々成長する姿に頼もしさを感じています。



初年次教育科目「環境共生科学入門」を受講する1年生(5月26日)

### 大学院への進学を薦めています ～大学院で学びを深めませんか～

生物資源科学部で学んだ後は、より高い技術と専門的な知識を深めることができる自然科学研究科への進学を推奨しています。大学院での学びを通して自分の能力を大きく磨くことで、より専門的な職種に就くことが可能となります。



↑  
入試情報はこちら

### 後援会への入会を お待ちしております!

生物資源科学部後援会は、「生物資源科学部の強化発展を期し、その教育事業を後援することを目的」として、保護者の皆様が会員となり、学生の進学、就職支援ならびに学生生活充実のための様々な学生生活動への支援をいただいています。未入会の方は、是非入会いただきますようお願いいたします。

- 学部生 入会金及び会費30,000円
- 3年次編入学生 入会金及び会費15,000円

### ここにしかない学び —自然を活かしたフィールド教育—

フィールド教育プログラム～森林から耕地、海へ～は、私たちの生活が自然との共生の中で成り立っていることへの理解を深め、地域に貢献できる人材養成のための「特別副専攻プログラム」です。本学部附属生物資源教育研究センターの三瓶演習林、本庄総合農場、神西砂丘農場、隠岐臨海実験所での活動を通して、現状と課題の総合的な理解を目指しています。